



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 293

2021/08/01

今月の一枚

今月のイベント

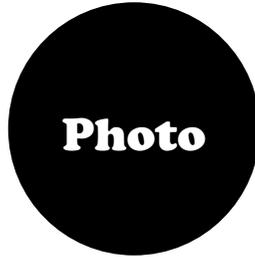
参加者募集

GREEN COLUMN

01. 液浸標本の引っ越し
02. ヒグマもホタルを見ていた?!



今月の一枚



「土用まつたけ」

表紙写真・文／町田善康

秋の味覚の王様といえば、松茸。上品な香りとシャキシャキした歯ごたえがたまりません。旬は9月に入ってからですが、極まれに8月にも採れることがあり、これを「土用まつたけ」と呼びます。降水量が多く、涼しい夏に採れることがあるようで、写真の松茸は、8月13日に見つけました。

今年の夏はとても暑くて、雨も少ないので、土用まつたけに出会うのは難しい年になりそうです。

Event. 今月のイベント

特別展「びほろのアケボノ～旧石器時代の遺跡～」 ～10月24日（日）

「夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル」 ～8月31日（火）

ロビー展「すごい標本！すごい資料！」 ～10月6日（水）

プチ工房「サマーフォトフレーム」 8月6日（金）,7日（土）

博物館講座（自然編）「ポータブル魚道」 8月28日（土）

Information. 参加者募集

夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル

● -8/31（金）9:30 - 17:00 ●美幌博物館 1F 受付 ●無料 ●受付で名前と連絡先を記入すること。

プチ工房「サマーフォトフレーム」

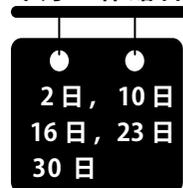
● 8/6（金）,7（土）① 10:00 開始, ② 11:00 開始, ③ 14:00 開始, ④ 15:00 開始。所要時間 30 分～, 作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費 400 円, マスク ●久保田結衣（美幌博物館）●美幌博物館へ電話申込み（-8/5）。各回定員 12 名で締切。小学 3 年生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

博物館講座（自然編）「ポータブル魚道」

● 8/28（土）10:00-12:00 ●マナビティーセンター 2 階 大研修室 ●無料, マスク ●高橋直己氏（香川高等専門学校）●美幌博物館へ電話申込み（8/1-27）。中学生以上～一般 50 名で締切。小学生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱がある、あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは、内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により、一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上、ご参加ください。

今月の休館日



〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

液浸標本の 引っ越し

写真・文／町田善康



美幌博物館の収蔵庫は狭い。開館当初からの学芸員たちの悩みでした。この狭い収蔵庫には、各学芸員が、自分の専門分野で特に大切なものを持ち込み、結果、様々な資料が収められてきました。一方、様々な資料が収められた収蔵庫は、弊害も生じており、特に、液浸標本（ホルマリンなどの液体に入った標本）と絵画が、同居することは、大きな問題でした。本来、この2つの資料は、保存環境が全く異なり、別々の収蔵スペースに保管されるべきです。加えて、開館30年が過ぎ、いよいよ収蔵庫が手狭になってきたので、新しい保管スペースを確保しなければならないようになりました。

そのために、まずは美幌町の役場庁舎移転に伴って不要となる書棚を譲りうけ、平置きされていた写真やフィルム、書籍などを一か所に集約しまし

た。そしてフィルムや書籍が置かれていた部屋を整理して、液浸標本を収蔵する場所にしました。標本を置く棚には、耐震のためのアンカーを打ち込み、また、全ての瓶はコンテナに収め、棚から落ちないように転落防止の設備を付加しました。そして最後に、標本をもう一度整理しなおして、新しい液浸標本用の収蔵庫が完成しました。

収められた標本は、1970年代に収集された全道の淡水魚、ロシア連邦バイカル湖のカジカ、そして私が集めた標本の数々。占めて28,888点（魚類：25,859点、貝類1,510点、両生爬虫類：164点、甲殻類：1355点）。ここまでやれば、ようやく博物館らしい収蔵庫になってきたと言えるでしょう。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

ヒグマもホタル を見ていた?!

写真・文／鬼丸和幸



最近、美幌町で見られるヘイケボタルの生態と比較研究する目的で、釧路湿原に生息するヘイケボタルの調査・撮影に、しばしば出かけしています。

それは7月15日のこと。この日、指導を依頼された釧路湿原で開催される、ホタル観察会の下見とホタル撮影のため、釧路湿原の遊歩道沿いを歩いていた時のことです。ビジターセンター職員ら4人と、しばし乱舞するヘイケボタルを撮影した後、木道を歩いていると、突然、闇夜で真っ暗の中、ほんのすぐ木道脇の草むらから“ガサガサ”“ピチャピチャ”という音が…「エゾシカでもいるのか」と、特に驚きもしないで、ふと目の前の木道をライトで照らしてみると…濡れたばかりのヒグマの足跡が点々と続いており、先端で直角に曲がり草むらへと続いているのを発見!「シカでなくクマだ!」

…一同に緊張が走りました。幸い、ヒグマの方が私たちより早く気がついてくれ、木道から離れて逃げてくれたようです。普段一人で歩く時は、鈴を鳴らしながら歩くのですが、この時は4人もいるので安心して、鈴も鳴らさず、懐中電灯もつけずに歩いていたため、お互い発見し合うのが遅れたようです。

今回の経験で実感したことがあります。俗に“クマの方が早く人を見つける”と言われますが、本当にその通りだなと思いました。鈴をつけていませんでしたが、お互い、おしゃべりしながら歩いていた気配を、ヒグマはしっかり感知してくれていたようです。ヒグマがいそうな森に立ち入る際は、「鈴など音を鳴らして歩く」「複数名で連れ立つ」…最も基本的なヒグマに対するマナーを守ることが、とても大事だと実感しました。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・久保田結衣

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



.....

連夜 22 時頃まで昆虫調査・撮影を続けています。
夕食は、現場でコンビニおにぎり 2 つで済ませ
ているせいか、ひと月で約 2kg の減量。ミニドッ
ク検査で C 判定された中性脂肪値・総コレステ
ロール値も、少しは解消されるはず?! その分、
腰痛と寝不足が続いています… (鬼丸)